



## くらしの科学

### 「集中豪雨と雑用水」

毎年のように繰り返される、集中豪雨と浸水・洪水被害。下水道やポンプ施設の整備など行政の仕事が重要ですが、各家庭が寄与できることに「雨水タンク」の設置があります。雨水をタンクに蓄え、散水や洗車、非常用水、工夫次第ではトイレに活用できますが、地域レベルで見れば上水道の負荷を減らし(渇水対策)、なおかつ集中豪雨をやんわりと分散し浸水被害を減らす効能もあります。製品は簡易なもので1万円程度、しっかりしたものは4~5万円からのようですが、上記の効能から郡山市を含む多くの市町村で助成金制度があります。

両国の国技館をはじめ大型施設では雑用水(いわゆる中水道)としてトイレや景観などに活用されますが、こちらは建築物環境衛生管理基準で塩素処理し大腸菌がないこと、pHや臭気に問題ないことが定義づけられています。

〈もっと知りたい▶郡山市・雨カツ補助金、国交省・水資源有効利用〉

科学グループ 熊本 隆之

各グループから  
ホットな話題を  
毎号シリーズで  
お届けします!



## 四方山雑記

### 「フラに魅せられて」

映画「フラガール」にはまりいつか私も!という想いを何年も温めてついに今年初舞台デビューとなりました。

日常を忘れ、心安らぐ曲や弾む曲、また脳にアルファ波を出す前向きな曲で、私にとっては「癒し」となっています。

フラは手の動きや足のステップが面白いです。昔々、文字を持たなかつたハワイの人々が神への信仰の表現とした動きだそうです。

雨、花、風、波など手のモーションはどれも美しく踊り自体が一つの物語を構成しています。

曲に合わせ無理なく足腰が鍛えられ膝関節の予防に効果的だったり認知症予防対策、そしてポッコリお腹引き締めにも期待したいところです(笑)

そうそう!今以上に「フラ筋」をつけ最も基本となる笑顔を大切にこれからもずっと楽しんでいきたいと思います。

案内グループ 原 弘子



## そら 宙レター

### 「流星群」

お盆休みに私はペルセウス座流星群を見ました。流星群と言う言葉は誰もが聞いたことあると思います。ただ、いつ見れるのか、どうやって見るのか、わからない方が多く観望会などの時によく質問をしていただきます。

流星群は様々な種類があります。その中でも三大流星群と言ふものがあり、1月にしづく座流星群、8月にペルセウス座流星群、12月にふたご座流星群。

ちょうど子供さんは長期休暇の時期です。夏は虫よけ対策、冬は防寒対策をしっかりして家族で夜空を見上げてみて下さい。地面にシートを引いて横になったり、背もたれが少し倒れるような椅子に座ったりして、空全体を見渡すのがおすすめです。その際はしっかりと安全確認して下さい。どこに星が流れたか、何色だったか、明るさはどうだったか、観察してみると楽しいです。きっと数え切れないくらいの星に出会えますよ。

天文グループ 相田 青空海

## スペースパーク ボランティア大募集!

案内グループボランティア 科学グループボランティア 天文グループボランティア

### ■活動時間 (午前の部) 9:30~13:00 (午後の部) 12:30~16:00

※館外での出張活動・イベント開催時・天文ボランティアの活動については、この限りではありません。  
※毎月2回以上の活動を予定しています。

### ■応募条件

- ①科学館の活動に興味があり、ボランティア活動への熱意がある方
- ②15歳以上(中学生を除く)で健康な方 ※未成年者は保護者の承諾書が必要となります。
- ③無償で参加可能な方 ※昼食代、交通費等の支給はありません。

### ■応募方法

ふれあい科学館に電話でお問い合わせいただくか、22階インフォメーションカウンターへ直接お越しください。

★『S.P.Vつうしん』発行予定 第55号12月中旬★

★S.P.Vの楽しくてタイムリーなボランティア活動情報をWEBでお知らせしています

WEBアドレス <http://www.space-park.jp/volunteer/>

募集や活動等についてのお問合せは…… 郡山市ふれあい科学館 TEL024(936)0201まで



- ☆科学グループ(山) … FREA出張時、ある出展に私たちは盛り上がっていました。それは、僅かな時間で自分の血管年齢が判ってしまうという恐ろしき技術展示。怖いもの見たさで受診するメンバーたち。そして…
- ☆案内グループ(原) … 毎年、楽しんでいる夏花火!だったのに…雨が★黒い雲が★あー残念↓
- ☆天文グループ(鹿) … 天の川の季節です。夜空に広がる美しい天の川を見るのが楽しみです。天の川を見たことのない人は、街の灯りの無い郊外に行って是非見てください。

●スペースパークボランティアの会●

# S.P.V つうしん

第54号 2017/September

発行／スペースパークボランティアの会 広報部会 〒963-8002 福島県郡山市駅前2-11-1 TEL 024-936-0201 FAX 024-936-0089

### 出張活動報告



## ぐるっと湖南・伝承会

### ■少年湖畔の村 7月21日金・8月10日木

7月21日AM10:30ボラ室集合。先日出来なかった準備をしてPM12:30出発、湖南・少年湖畔の村へ行きました。

小学1年生から6年生まで51名、ワイワイ・ガヤガヤで始まりました。始めの挨拶もそこそこに加茂さんの指導で工作を開始。風船ロケット・ホバーフラフトに挑戦しました。風船ロケットの羽根をつける前とつけた後の飛び方を体験させ、その違いを実感させ、考えさせてから説明しました。ホバーフラフトはしくみを説明し、理解させながら作らせました。二つ共好評で楽しみながら作ってくれたと思います。

最後に風船ロケットの飛ばし方競争を行い、科学館から持



参した風船やUV蝶々を景品にしたので大いに盛り上がりました。

大きい子が小さい子の面倒を見る場面も多く見られ、めっちゃ暑かったけれど私達も楽しい時間を過ごしました。

科学グループ 佐久間 秀子



### 須賀川市中央公民館主催

## 「親子で星を観る会」

### ■須賀川市役所駐車場 8月5日土

7時より講師の紹介等を始めましたが、天候があまり良くないのですぐに須賀川市役所駐車場で観望会を始めました。雲の流れが有り、天体の見え隠れが激しい中での観望会でした。そのような中でも、十三夜の月、木星、土星、白鳥座のアルビレオを望遠鏡で見ることができました。月の凸凹、木星の縞模様と衛星、土星の輪に多くの人が感嘆の声をあげていました。子供達が自分で持ってきた小さな望遠鏡では月は捉えられましたが、木星や土星を捉えるのが難しく、とうとう捉えられずに残念がっていました。街の灯りと雲のため、夏の星座



が観えなかったのが惜しました。

外に出て1時間ほどで全面が雲に覆われたため、駐車場での観望会を中止して、部屋の中で惑星や隕石・流星の話、皆既日食、人工衛星など天文事象の楽しみ方の講義をして観望会を終了しました。

自分の望遠鏡で惑星が捉えられなかった子がまた挑戦してみると言っていたのが印象に残りました。

天文グループ 鹿岡 国俊

## 出張活動報告



# 郡山わくわくフェスタ

■なかまち夢通り 7月1日土

7月1日(土)雨が降っている「なかまち夢通り」で開催された「郡山わくわくフェスタ」に参加しました。屋外工作にはもってこいの、紫外線を浴びると白色のビーズが数秒で赤・黄・橙・青・紫に変色するUVビーズを使った「UVちょうちょう」を作りました。好きな色のモールで蝶を作り、UVビーズを付けて完成。屋外ということもあり、直ぐに色が変わり「黄色だ!」「紫になった!」と声を上げる子供たち。雨の日でも紫外線は強いということを知っていただけかな?

会場では小学校合唱交流会の催しもあり、コーラスを聞きながら普段とは違う雰囲気の中で皆さんに楽しんでいただきました。今年度に新規加入したボランティア会員は、今回が初めての活動でした。

科学グループ 熊谷 晃



# FREA一般公開

前年に引き続き、国の研究機関である産総研の市民向け公開イベントへ、科学グループが『ホバーフラフト』工作を出展しました。参加メンバーも多かったため、出展しつつ交代で他所を見て回り、私たちもイベントを大いに楽しみました。メンバーの声を紹介致します。

高校生も会津からバスで来ていたりと、雨の割には結構たくさんの方がいらっしゃって、楽しい時間が送られました。(秋山)

LEDに被せる変色ラバーキャップや、迷路を瞬く間に突破するマウスロボットなど、新しい技術に色々触れることができました。(大越)

偏光板のワークショップに参加したりと、自身とても勉強になり、今後の活動に必ず活かします。また、高校生の新技術出展も凄かったです。(加茂)



材質にもよると思いますが、ホバーは湿り気のある床では滑りが悪いように感じられました。乾燥した床でやるといいのかと。本来のホバーフラフトは水面さえも走れるハズなのに、私達の水は弱く熱に弱く、環境に左右されまるホバーです。(熊谷)

私たちの出展内容に関し、頷きながら熱心に話を聞いてくれる学生さん等もいて、科学好き同士、出展者と来場者が一緒にあって楽しんだイベントでした。(佐久間)

会場も広く多岐に渡る出展が楽しめ、新技術に接したりもでき、老若男女みんなが楽しめるイベントでした。(佐久間)

お天気のせいか、来館者が少ないように感じられました。お弁当はおいしかったです。(丹野)

## 活動報告



# サイエンスフェスティバル

科学館展示ゾーン 7月15・16日土日 8月14・15日月火

夏休みは科学館が一際賑わう時期です。この時期の恒例イベント:サイエンスフェスティバルに、今夏、科学グループは『ぶっとびロケット』を出展しました。同時期、館で開催されている他の企画が“恐竜”に“ホラー”と子どもたちの心を驚きに満たす魅力的な内容であることもあり、科学館は連日大盛況!私たちにとっても、やりがいと充実感に満たされた楽しい数日間となりました。

ぶっとびロケットは簡単に作れる工作ですが、真っ直ぐ打ち上げるのは意外と難しく、宙の方へ向けて飛んでいく「打ち上げ成功!」が一発で出せる、小さなお子さんは希少です。ですが少し練習すれば上達が目に見えて楽しい工作ですので、諦めずに何発も打ち上げてみてください。高学年の方は、原理を考え、より飛距離の出るロケットを研究してみてくださいね。

科学グループ 山田善貴



# 平成29年度 // S.P.Vの新たな仲間たち// 今年度新会員紹介

平成29年度

NEW MEMBERS

このたび天文グループに入会いたしました松永壹夫です。天文に興味を持ったのは、約30年前に地球へやってきたハレー彗星を追いかけてから。当時はだいぶ入れ込みましたが、その後仕事が忙しくなり夜空を見上げることはご無沙汰をしておりました。ただ初めて見た月のクレーターや、土星の環、木星の衛星を直接見て大きな感動を覚えたことは忘れられません。

入会後行われた観望会へは、勉強会のつもりで参加したのですが、1台の望遠鏡を担当することになりました。

「いざ本番!」心配した雲に時々邪魔されました。土星や木星をまだ見たことがないたくさんの方々にも見て頂け、皆さんに感動して頂けました。

観望会は星好きへの入り口、今後色々な所で行いたいですね。

天文グループ 松永 壱夫

スペースパークボランティアの天文グループに参加して13年がたち、7月から案内グループにも参加しています。

地上96メートルの展望ロビーからの眺めは素晴らしい、場所は違っても『智恵子抄』のように、本当の空と遠くの山々から近くの川、市街地や道路、そして新幹線や在来線がミニチュア模型のように見えます。

以前から案内グループの活動を見る機会があり、案内グループのメンバーそれぞれに得意分野があるようで、私は『紙芝居』や『昔遊び』に興味がありました。

展望ロビーにいらっしゃるお客さまが、展望ロビーでちょっと休憩してゆったりした気持ちになれるような、私らしいご案内ができるようになれたらしいなと思っています。

展望ロビーでボランティアを見かけたら、ちょっとゆっくりしませんか?

案内グループ 降矢 節子

長年続けてきた仕事中心の生活をそろそろ卒業し、最近は地域とのふれあいを増やしたいと思うようになっていました。

ボランティア活動は何が有るのだろうとネットなどで探していくうちにスペースパークの活動が目に止まり、興味を覚えました。そして、科学グループに入って最初の活動に参加した際、子供達が好奇心を持った目で製作に取り組み、完成させて動かした時の喜び顔に自分も嬉しい気持ちになりました。

子供の頃は工作が好きで本棚やラジオなどを組み立てていましたが、その頃の自分の見える様でした。

いくつになっても好奇心も絶やさない様にすることが、この活動への参加を長続きさせることかなと思っています。

科学グループ 简井 隆

私は今7人家族で孫守りと姑の介護をしながら、月に2~3回お花とお茶を習っています。

隣近所のつき合いや地域とのつながりもなく、将来への不安を感じていたとき、科学ボランティアのことを教えていただき、無理をせず楽しみながらやればいいのよと誘っていただき、自分も何かやりたいと思っていたときなので、やってみたいと思い入会しました。

先輩方に教えていただきながら参加して、作品が出来上がったときの子供達のビックリしたり嬉しそうな顔を見て、私も嬉しく楽しかったです。これからも色々参加していきたいと思いました。

科学グループ 堀本 百合子

## 今号の きみさん

科学グループ 秋山 洋子

スペースパーク科学グループボランティアに入るきっかけは、友人のお誘いでしたが、早いもので活動を始めて2年余りが過ぎようとしています。

入会したばかりの頃は、工作が上手に出来ず先輩方に丁寧に教えていただき、子ども達に教えながら一緒に覚えて行くという感じでしたが、今は楽しんで取り組んでいます。また、子ども達が自分で作った工作に喜びながら取り組む姿に、感動しながら元気をいただいています。勉強会、ミーティング、それから各種イベント、出張活動の工作には、色々バリエーションがあり、私自身どんな物を作るか、ワクワクしながら毎回楽しみにしています。

これからも先輩ボランティアの皆様の力を借りながら、より多くの子ども達とふれあい、楽しく学び、長く続けていけたらと思います。

